２．金融商品の時価等に関する事項

期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりです。

（単位：千円）

	貸借対照表計上額（＊１）	時価（＊１）	差額（＊１）
⑴　投資有価証券及び有価証券			
満期保有目的の債券	801,301	829,265	27,963
⑵　長期性預金	100,000	100,045	45
⑶　現金及び預金	5,732,202	5,732,202	―
⑷　未収附属病院収入	3,318,621		
徴収不能引当金（＊２）	△　17,491		
	3,301,129	3,301,129	―
⑸　大学改革支援・学位授与機構			
債務負担金	(1,255,705)	(1,319,325)	(63,620)
⑹　長期借入金	(14,506,918)	(14,998,213)	(491,295)
⑺　未払金	(3,746,761)	(3,746,761)	―

（＊１）　負債に計上されているものについては、（　）で示しています。

（＊２）　未収附属病院収入に計上している徴収不能引当金を控除しています。

㈫　金融商品の時価の算定方法

⑴　投資有価証券及び有価証券

これらの時価については、取引金融機関から提示された価格によっています。

⑵　長期性預金

これらの時価について、期間に基づく区分毎に、新規に預金を行った場合に想定される預金金利で割り引いた現在価値によっています。

⑶　現金及び預金、⑷　未収附属病院収入

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっています。

なお、未収附属病院収入のうち貸倒懸念債権については、本学制定の「貸倒損失・貸倒引当金に係る取り扱いについて」に基づき時価を算定しています。

⑸　大学改革支援・学位授与機構債務負担金、⑹　長期借入金

これらの時価については、元利金の合計額を新規に同様の借入を行った場合に想定される利率で割り引いて算定する方法により算定しています。

⑺　未払金

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっています。

Ⅷ．賃貸等不動産の時価等に関する注記

本学は、松江地区などにおいて寄宿舎等を有しておりますが、賃貸等不動産の総額が重要性に乏しいことから、注記を省略しています。

Ⅸ．減損に関する注記事項

１．減損の兆候が認められた固定資産

⑴減損の兆候が認められた固定資産の概要

・用　　途　駐車場
・種　　類　土地
・場　　所　島根県松江市南田町
・帳簿価額　67,193千円

⑵認められた減損の兆候の概要

南田町団地（研究者交流会館跡地）土地は、島根県から国の認可を受けた都市計画道路整備（道路拡張工事）事業の実施に伴い、研究者交流会館敷地の一部譲渡について要望があり、平成25年１月に研究者交流会館を取り壊し、平成25年３月に島根県へ1,101.62㎡のうち544.89㎡を譲渡した残地（556.73㎡）です。

当該土地は、道路拡張工事完成予定である平成30年３月を目途に譲渡することが決定しています。

⑶減損を認識するに至らなかった根拠

当該土地については、譲渡するまで駐車場として使用することから、減損を認識していません。

Ⅹ．重要な後発事象

該当ありません。

国立大学法人岡山大学平成28事業年度財務諸表に関する公告

国立大学法人法（平成15年法律第112号）第35条において準用する独立行政法人通則法（平成11年法律第103号）第38条第３項の規定に基づき、国立大学法人岡山大学平成28事業年度財務諸表について次のとおり公告します。

平成29年10月６日

岡山県岡山市北区津島中一丁目１番１号
国立大学法人岡山大学　学長　槇野　博史

貸　借　対　照　表

（平成29年３月31日）　（単位：円）

資産の部		
Ⅰ　固定資産		
１　有形固定資産		
土地	52,050,454,562	
減損損失累計額	△　86,379,220	51,964,075,342
建物	85,660,734,896	
減価償却累計額	△　37,903,152,661	
減損損失累計額	△　61,642,090	47,695,940,145
構築物	5,344,806,150	
減価償却累計額	△　3,010,325,791	
減損損失累計額	△　1,625,774	2,332,854,585
機械装置	124,459,781	
減価償却累計額	△　62,135,250	62,324,531